

農業経営部会通信

29号

今月の例会報告

部会発足30周年、これまでの歴史と歩み学ぶ～一泊望年例会～

12月20日(金)、一泊望年例会が49名の参加で行われました。農業経営部会は全国に先駆けて部会が誕生してから今年で30年を迎えます。第1部記念講演として、30周年を記念したパネルディスカッションを開催。初代部会長をはじめとした6代目部会長までの5名が登壇。9代目部会長と現部会長(15代目)がコーディネートしました。※別枠参照

30年前の当時を思い返しながらのパネルディスカッションは今とは違う時代・社会の中で今でこそ一般的になり始めた6次化や企業連携に先駆けた取組をしてきたパワーを感じさせるものでした。「なにを学ぶかよりも誰と知り合うかが大事。仲間と共にこれからも時代に先駆けた取組をしていって欲しい。」とこれからの期待が語られ記念講演は終了しました。

第2部は毎年恒例大望年会。令和元年となった2019年を振り返るとともにオリンピックイヤーともなる2020年への期待と抱負を語り合い、盛会のうちに終了しました。



《コーディネーター》

9代目部会長 児玉 誠也 氏(児玉ヘルス商事株式会社)
現部会長 小倉 修二 氏(有限会社トヨニシファーム)

《パネリスト》

初代部会長 早苗 諭 氏(有限会社北海ファーム三和)
3代目部会長 片岡 文洋 氏(有限会社夢がいっぱい牧場)
4代目部会長 妹尾 英美 氏(有限会社北海道ホープランド)
5代目部会長 梶山 初憲 氏(梶山農場)
6代目部会長 高橋 俊一 氏(農事組合法人西上経営組合)

農業政策グループ～地域農協や農業者の未来への期待～

12月23日(月)、農業政策グループは「地域農協や農業者の未来への期待」と題して12月例会を開催。農林水産省 経営局協同組織課長の日向 彰 氏をお招きしました。

農協の8割が本業では赤字、共済や金融で穴埋めをしている実情を報告。そんな中で全国の優良な取組を紹介。2019年までの5年間をかけて行ってきた農協改革については「農業者に頼ってもらえる農協づくりをと対話を重ねてきた。これからも農水・農協・農業者それぞれ、お互いの歩み寄りが必要。」と語りました。



今後の予定

● 新年も活発に活動します！

その他、1月も農業における働き方改革、労務管理のポイントから最新ロボットを導入した省力・省人化牛舎、乳肉複合経営、乳製品加工施設の視察例会まで月3回例会を開催！

2月以降も複数回の例会で学び合っていきます。例年になく雪の少ない冬に後の影響も心配されていますが、元気に学び合いながらこれからの降雪を期待します！

- ①2/5 GAP・HACCP・ISOグループ(認証作物の動向)
(講師) 帯広畜産大学 特任教授 渡辺 信吾 氏
住化アグロソリューションズ(株) 代表取締役 河西 康弘 氏
- ②2/13農業経営・法人化グループ(経営体験報告)
(報告者) (有)希望農場 代表取締役 佐々木 大輔 氏
- ③2/26農業新技術グループ(新作物へのチャレンジ)
(報告者) 十勝グランナッツ合同会社 藤井 信二 氏
etc.....